



vol.10 | 協力隊通信 | Winter 2024



※本イラストはChat GPTを活用して作成しました。

前橋市地域おこし協力隊 地域づくり分野

「赤城姫の伝説」を現代版にリニューアル

PAVEL FEDOROV
(パベル フョードロフ)



【地域の魅力紹介】

赤城大沼

四季折々の自然が楽しめ、

赤城神社の朱色とのマッチングが素晴らしい

今作では、赤城姫と赤城山について、さらに全世界の女性が赤城神社に自分の秘めた願いを伝えるという特別な機会があり、それが実現することを魅力的な形で伝えます。前作に比べ規模が大きく、経済的にも撮影場所の面でも広範囲にわたるため、現在、積極的にスポンサーを探しています。動画作成の目的は、日本人および外国人観光客の増加を図ることであるため、地元企業にも参加していただきたいです。

Youtubeにユーチューブビデオ「Maebashi & Stars 2023」を公開した後、前橋市民だけでなく世界中から様々な反響がありました。賞賛するコメントもあれば、批判的なものや戸惑いを示すものもありましたが、次回作について尋ねるコメントも多いです。実際、次回作の準備は、再生数が20万回を超えた今年2月から始めています。前橋市の観光名所を徹底的に調査した結果、舞台は赤城山に決定しました。私は、この場所の自然美を見せるだけでなく、現代的な形で「赤城姫の伝説」についても紹介したいと考えています。

多くの人は、大沼のほとりにある赤城神社がこの姫にちなんで建てられたことを知っていますが、女性たちの願いを叶えるために存在することは知られていません。



vol.10 | 協力隊通信 | Winter 2024

前橋市地域おこし協力隊

地域づくり分野

三ツ井 朋大

(みつい ともひろ)



【地域の魅力紹介】

Akagi life の写真です。 赤城山で撮影。

住んでいる地域の山を好きになる。

赤城山の過ごし方の提案として「Akagi Life」という情報発信を行っています。
赤城山は四季折々の表情を持つ自然豊かな場所です。
私自身、これまで自然の中での遊び方や過ごし方を
先の人達から教えていただき、山の魅力を知りました。
そのため、「こんな風に過ごせる」、「こんな場所がある」
ということを伝えることで、一人でも多くの方に訪れて
いただき、赤城山が好きになる人が増えてほしいという
思いで発信をしています。

先日、富士山の麓の山中湖エリアに伺いました。その時に
その土地に住んでいる人から「この場所すごくいい場所で
大好きなんだ」という言葉を聞きました。

自分が住んでいる地域の山を好きになることは、地域の誇り
として他の人に伝えたいという気持ちが続きます。
赤城山の魅力を伝え、地元の方々にもこの山の新たな一面を
再発見していただきたいと思っています。
また、今後はより来山者がこの場所を誇りに思うような場
作りを進めています。進展がありましたら、共有いたします。



vol.10 | 協力隊通信 | Winter 2024

前橋市スポーツ推進 地域おこし協力隊

高橋 茉由子

(たかはし ふゆこ)



【地域の魅力紹介】

世界の名犬牧場

愛犬が2匹いるので、オフの日は一緒にお邪魔しています。

ドッグランもとても広いし、ワンちゃんと一緒に入れる

カフェもあるので1日中一緒に遊ぶことができてありがとうございます。

毎回家に帰ったらみんな爆睡です。(笑)

スポーツの力で、前橋市に活力を

前橋市地域おこし協力隊の高橋茉由子です。地域の皆様の「スポーツ」を推進するため、様々なイベントを開催しています。前橋市を拠点に活動している3×3(3人制バスケットボール)プロチーム「LOWE ST.GUNMA」のプロ選手としても活動しており、様々な面から前橋市のスポーツに携わさせていただいています。2024年はリズム運動や栄養講習、バスケットボール教室など、年代を問わず開催し毎回たくさんの地域の皆様にご参加いただきました。今年の活動により、少しずつ地域の皆様に認知していただいている実感もあり、2025年はより一層地域住民のニーズに応えた活動をしていきたいため、SNS等オンラインの場でもアプローチしていく予定です。自身のプロバスケットボール選手としての活動はもちろん、前橋市にはプロスポーツチームやアスリートが複数在籍しておりますので、そういった方々の認知活動も進めていきます。これからもよろしくお願いいたします。

光の街
情緒の湯の街

温泉
united mood



vol.10 | 協力隊通信 | Winter 2024

前橋市移住定住促進

地域おこし協力隊

上原 裕介

(うえはら ゆうすけ)



【地域の魅力紹介】

上細井の畑から見た風景

南には前橋の街並み、

北には雄大な赤城山が見える最高のロケーションです

前橋暮らしを紹介

前橋市観光政策課職員・前橋移住コンシェルジュと共に、東京の有楽町にあるふるさと回帰支援センターが開催している、移住相談会に参加しています。

相談会では、前橋市の地理や歴史・先輩移住者さん・前橋市で現在行われている活動等を説明しています。

また、移住したい理由等のヒアリングから、前橋市でお力になれるなどを紹介し、前橋市訪問の提案をしています。

の方に、前橋市の地理や歴史・先輩移住者さん・前橋市で現在行われている活動等を説明しています。

前橋市に訪問を決めてくださった移住希望者の方に対しても、あらかじめ市職員とコンシェルジュと相談し、移住希望者の理想の暮らしをサポートするのに最適な人物（サポート）を行政・民間の中からピックアップし、訪問日に会えるよう調整しています。

訪問日には前橋市の案内と共に、サポートターとマッチングを行い、前橋市にまた訪れたい・移住したいと思っていただけるよう工夫しています。



vol.10 | 協力隊通信 | Winter 2024

前橋市地域おこし協力隊

スローシティ・観光振興分野

村上 史

(むらかみ あや)



【地域の魅力紹介】

はなぶさ有機農園 ALM

自家製のカレーやホットドック、季節ごとに変わることで、ジェラートが楽しめるスローシティエリアのカフェ。のんびりと美味しいものが楽しめる、癒しの場所です。

「もっと知って、もっと美味しく。 惣菜マダムのジモットレシピ」

地元の食材を知り、美味しく食べるための活動に力を入れています。前橋の肉や野菜はとても美味しく他県にも誇れるのですが、実際住んでいる人にとっては小さいところから当たり前にあったものという認識が強いため、その良さを効果的にPRする術がないという現状があります。そこで、意外と知られていない地元の旬の食材について生産者の方から直接学ぶセミナーイベントの開催や、その食材を使ったお弁当作りなどを実行しています。

もともとこの活動は、お惣菜でみんなを元気にしようという目的で、お料理好きのマダムが家族のために丹精込めて作る料理を街のみなさんにおすそ分けする、というコンセプトで主催の前橋リビングラボさんと一緒に始めました。お惣菜を通じて地域をつなげる目的もあり、シニアや子育て世代の継続的な就業や社会参画、地元食材を美味しく食べる方法を伝える地域文化の活性化、地域交流のきっかけになると良いなと思っています。



vol.10 | 協力隊通信 | Winter 2024

前橋市中心市街地地域おこし協力隊

徳光 航平

(とくみつ こうへい)



【中央商店街のユニークな取り組み。】

無人で本の貸し借りができるその名も「ブックのボックス」

隣には干し柿？！

前橋まちなか色々やってます！

こんにちは！一般社団法人前橋まちなかエージェンシー（MMA）に所属し、市中心市街地活性化に取り組んでいる徳光です。「まちなか新聞」の発行をメイン業務として行っています。まちなか新聞は、毎月発刊のローカルフリーペーパーで、まちなかの主要スポットに置かせていただいているので、是非お手に取ってご覧頂ければ幸いです。直近では、ブックフェスとの連動企画で「まちなかキャンプ」という企画に携わらせていただきました。県厅前の芝生や広瀬川河畔緑地にテントを張って泊まるらいう企画で、近隣の住民や施設の協力を得ることで実現でき、行政と民間が一体となって成功したイベントとなりました。私は会場計画や什器製作から当日の現場スタッフとして携わりました。振り返ってみれば笑いあり涙ありのイベントとなり、利用者やボランティアスタッフの方々とも深い絆の生まれるイベントとなりました。個人の活動としましては、市内の古民家を再利用し来年夏頃の開業に向けて飲食店の準備を進めています。完成しましたら皆さま是非お立ち寄りいただければと思います！

ブックのボックス

vol.10 | 協力隊通信 | Winter 2024

前橋市中心市街地地域おこし協力隊

小澤 亮太
(おざわ りょうた)



【地域の魅力紹介】

広瀬川湖畔

水の流れ、広がる芝生が非常に気持ちよく。
弁当を持参したときはベンチで食べています

『ブックのボックス』で交流を！

今年の6月に委嘱を受け、中心市街地活性化分野で活動している小澤です。

まちなかの中央通り、弁天通り、前橋文学館前には「ブックのボックス」が設置されています。去る10月に行われた前橋ブックフェスを盛り上げていこうと、今年の6月に設置したものです。この「ブックのボックス」にある本は自由に借りることができます。読むことがなくなってしまった本を提供していただくことができます。私も何冊か提供しています。この「ブックのボックス」を通して行いたいことは、「本を媒介としたコミュニケーション」です。本を借りるとき、返すとき、提供するとき、それぞれ一言ノートにコメントを書いてください。提供した本にどんな感想が来るのか、自分が借りた本を他の人はどう読み、何を感じたのか、ノートを通して皆さんのコミュニケーションが生まれれば一番嬉しいです。中央通りの「ブックのボックス」は03mm前（中央駐車場向かい）に設置されています。私はそこで勤務していますので、見かけた際にはお気軽に話かけてください。